アメニティデザイン企業

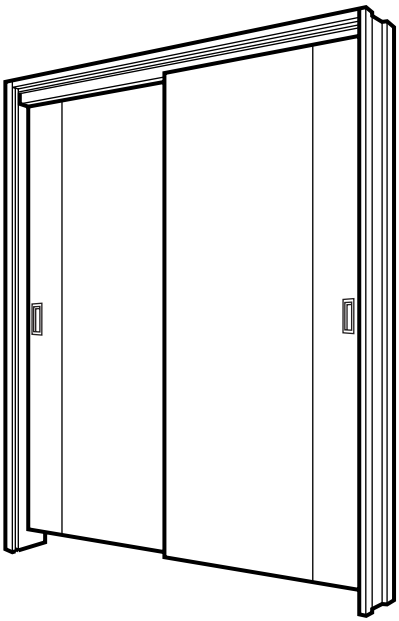
施工後、必ずお施主様にお渡しください。

施工説明書
取扱説明書

ダイケン INOMA-V リビングドア

吊　戸

〈見切枠〉



この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

大建工業株式会社

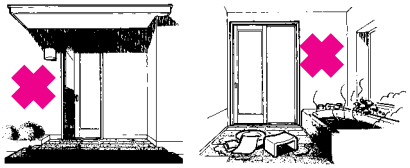
IV-TU-081003

必ずお守りいただきたいこと

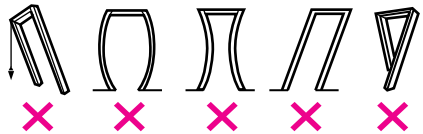
⚠施工上注意

ダイケンリビングドアを長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

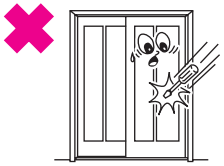
●この吊戸は一般住宅用の室内用吊戸です。
他の用途へのご使用はおやめください。



●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。
――扉が閉まりにくくなったり、枠との間にスキマができる原因となります。



●扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。
――傷をつけるおそれがあります。

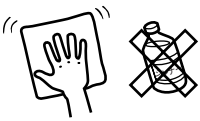


●工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。
扉は平積み保管してください。

●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。
――熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

お手入れの方法

●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶の変化や変色が生じます。

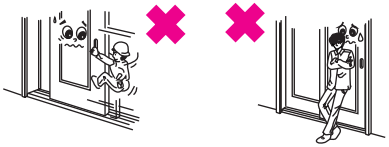


⚠使用上注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

●扉の開閉は、静かに行ってください。乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。

●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



●扉と枠の間や、扉どうしの隙間に指をはさまないよう注意してください。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。

●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

●ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。
ガラスが割れるおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。

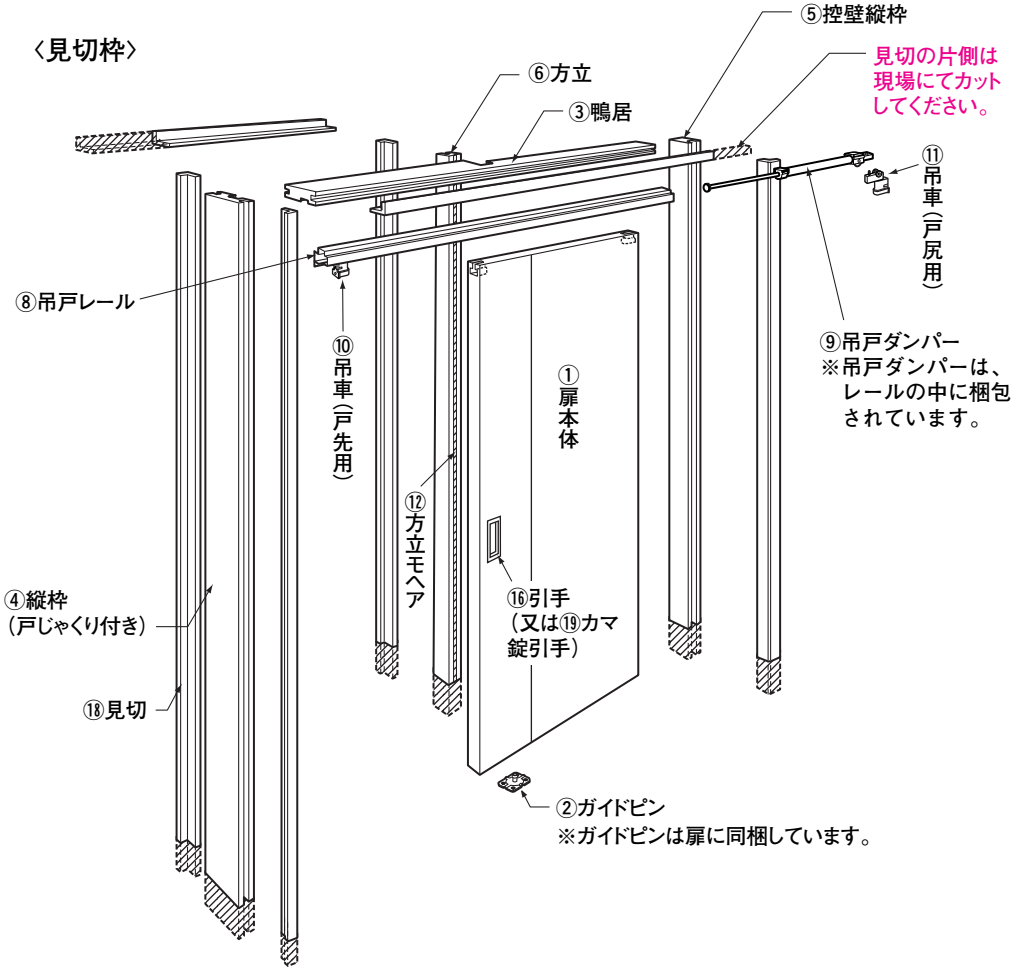
合成皮革デザイン扉を使用上のご注意

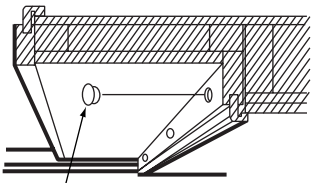
●合成皮革は性質上、傷やめくれに対して補修ができません。施工時や使用時の取り扱いにご注意ください。

●汚れの除去やつや出しには、市販の合成皮革用よごれ落とし、つや出し剤をご使用ください。（目立たない部分で試し塗りをしてからご使用願います。）

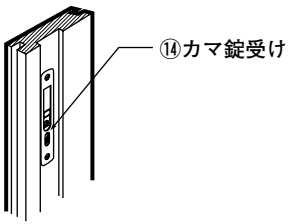
全 体 図

※図は片引の例です。





カマ錠タイプの場合



部材・部品表　施工前に必ず部品を確認してください。

	部品名称		数量	備考
扉セット	①	扉本体	片引の場合　1 引違の場合　2	
	②	ガイドピン	扉1枚につき　1	取付けビス――ガイドピン1つにつき4本（ϕ3.1×20）

枠セット	③	鴨居		1	プレカット済み
	④	縦枠		片引の場合　1 引違の場合　2	
	⑤	控壁縦枠		片引の場合のみ　1	
	⑥	方立		片引の場合のみ　1	
	⑦	金具セット		片引 / 引違	枠組立ビス ϕ4.2×50 → 枠調整ビス ϕ5.3×55 → ソフトクッション ϕ8×2 →
			枠組立ビス	6 / 4	
			枠調整ビス	11 / 11	
			ソフトクッション	0 / 6	
	⑧	吊戸レール		片引の場合　1 引違の場合　2	 取付けビス――6本／レール1本につき（ϕ3.8×32）
	⑨	吊戸ダンパー		片引の場合　1 引違の場合　2	吊戸レールの中に梱包されています。
	⑩	吊車（戸先用）		扉1枚につき　1	
	⑪	吊車（戸尻用）		扉1枚につき　1	
	⑫	方立モヘア		方立1本につき　1	方立に取付済
	⑬	引戸戸当りキャップ		8	
	⑭	カマ錠受け（片引カマ錠タイプの場合）		1	カマ錠受け――1個（縦枠に取付済）
	⑮	施工説明書・取扱説明書		1	必ずお施主様にお渡しください。

	部品名称		数量	備考
引手セット	⑯	引手	扉1枚につき　1組	
	⑰	取付ビス	2本	

	部品名称			数量	備考
見切セット	⑱	見切	縦　用	4	壁厚に合わせて５サイズの中から選んでください
			横　用	2	

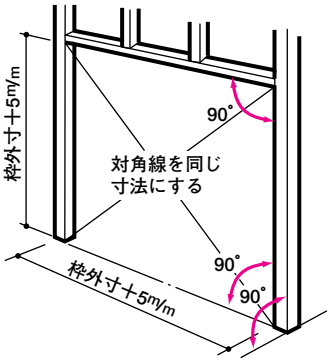
	部品名称		数量	備考
カマ錠引手セット（間仕切・表示）	⑲	カマ錠引手	1組	
	⑳	取付ビス	2本	

必要梱包　見切枠 ⇨ 扉セット＋枠セット＋見切セット＋引手セット

準 備

◆扉は上吊り式です。
まぐさは、必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。

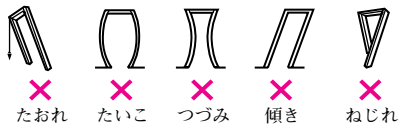
	6尺間口
梁の断面寸法	105×180mm以上



◆開口部の幅・高さの寸法を充分に確保してください。

⚠注意 梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。

◆柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

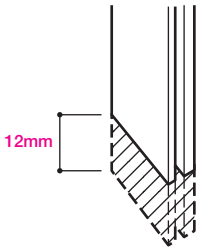


⚠注意 左図の様なことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。

梱包を開けて部品を確認してください。

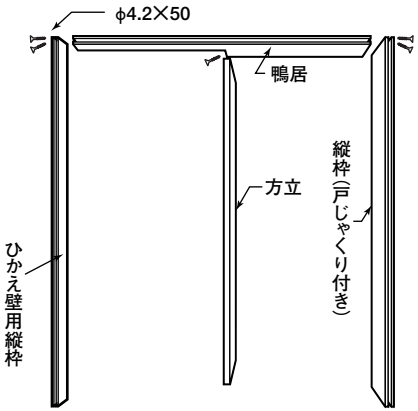
施工の前に

枠を床下に埋めこまない場合は枠下端をカットしてください。



◆枠を床下に埋めこむ場合は枠下端を床厚さに合わせてカットしてください。
◆詳細は寸法図を確認してください。

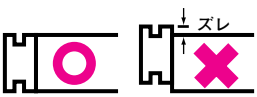
三方枠を組んでください。



組立には同梱の枠組立ビスを使用してください。

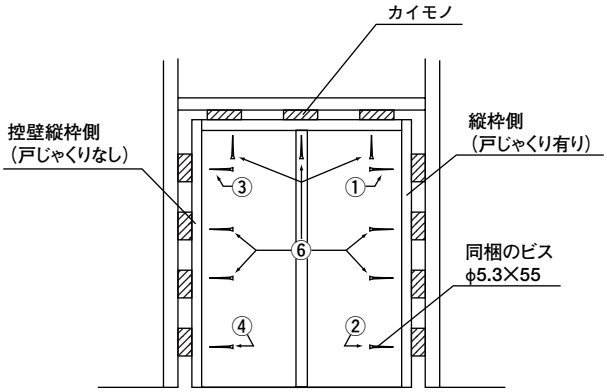
見切枠の場合

縦枠と鴨居にずれがないように組み立ててください。



施工手順

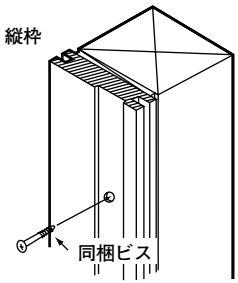
1 開口部への枠の取付



①枠を開口部にはめこんで縦枠側（戸じゃくり有り）の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

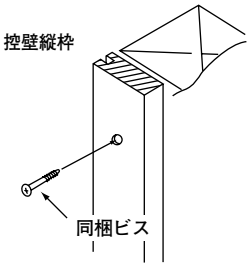
②下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠（戸じゃくり有り）の下部を枠調整ビスで仮固定してください。



必ず戸じゃくりのリード穴から同梱の枠調整ビスで固定してください。

⇩

③水準器で上枠の水平を見ながら控壁縦枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。



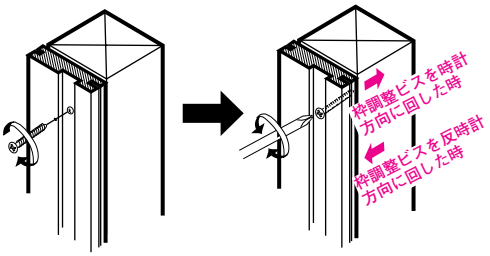
同梱の枠調整ビスでリード穴から固定してください。

⇩

④下げ振りを使って垂直をだしてから、控壁縦枠の下部を仮固定してください。

⇩

⑤枠の左右調整は右記の様に行ってください。



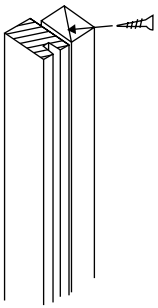
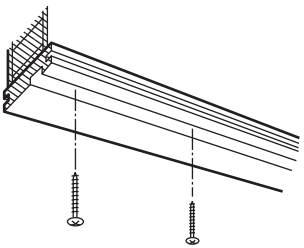
①まず枠調整ビスで枠を固定します。

②枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。

⇩

⑥枠の前後、左右のたわみがない様に調整後カイモノをして、残りの枠調整ビスで本固定してください。

⚠ 注意 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

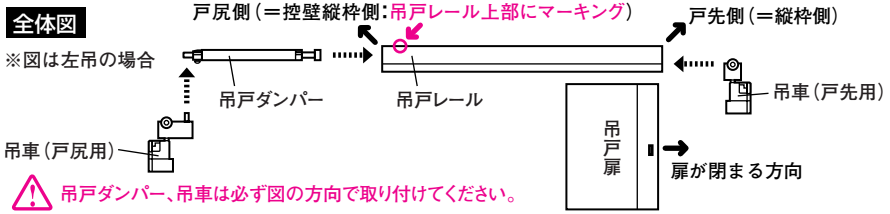
方　　立	上　　枠
	
裏面からビスで固定してください。（現場手配）	同梱の枠調整ビスでリード穴から固定してください。

2 吊戸ダンパー、吊車の取付

吊戸レールに吊戸ダンパー、吊車をセットします。

※イラストは左吊の場合。右吊の場合は目隠し板が手前についています。

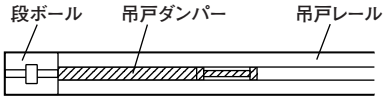
全体図



⚠ 吊戸ダンパー、吊車は必ず図の方向で取り付けてください。

(1) 準備

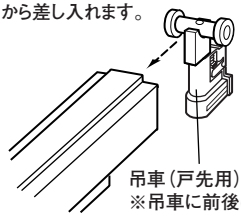
吊戸ダンパーは吊戸レールの戸尻側（吊戸レール上部にマーキング）内部に同梱されています。
吊戸ダンパー固定用の段ボール材を取り外してください。



※吊戸ダンパーが吊戸レールから外れないようご注意ください。

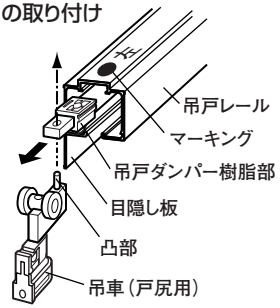
(3) 吊車（戸先側）の取り付け

吊車を戸先側（(2)で吊車を取り付けた反対側）から差し入れます。



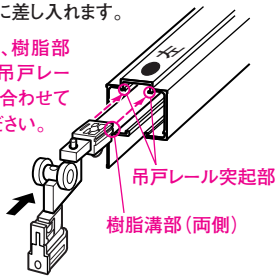
(2) 吊車（戸尻側）の取り付け

①吊戸ダンパー樹脂部を引き出し、端部の穴に吊車の凸部を差し込み、連結します。



②連結した吊車と吊戸ダンパーを、吊戸レールに差し入れます。

吊戸ダンパー、樹脂部の溝を、必ず吊戸レールの突起部に合わせて差し入れてください。

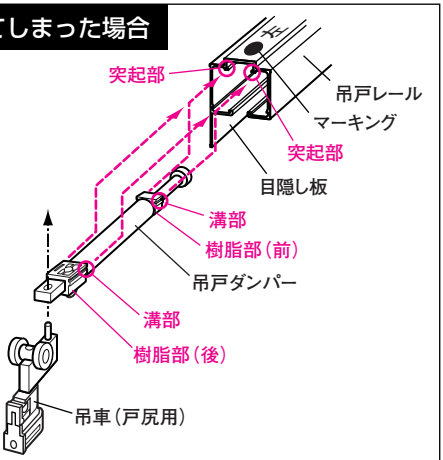


⚠ レールからダンパーが外れたまま差し入れた場合、吊車の走行が硬くなり、ダンパー機能が作動しません。

※吊戸ダンパーが吊戸レールからはずれてしまった場合

下記の手順に従い、吊戸ダンパーを吊戸レールに再度差し入れてください。

①吊戸レールの戸尻側（＝上部にマーキングがしてある側）を確認します。
②吊戸ダンパーの向きを右図を参照に確認し、吊戸ダンパー前後の樹脂部の溝部を吊戸レールの突起部に確実に差し入れてください。
※正しく取り付けなかった場合、正常に作動しません。
③上記（2）を参照に、吊車と吊戸ダンパーを吊戸レールに取り付けてください。

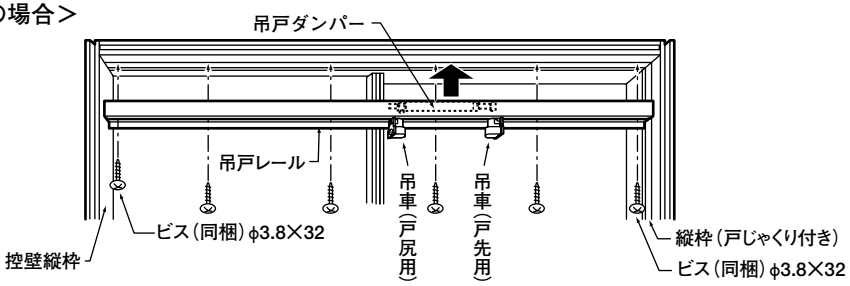


3 吊戸レールの取付

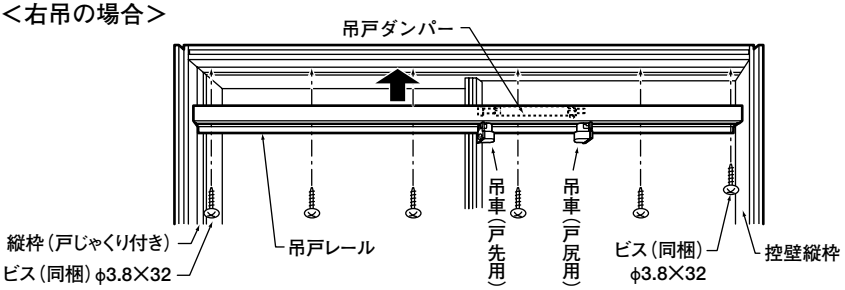
①吊戸レールを鴨居の溝に差し入れます。
※取り付けの際に吊車、吊戸ダンパーを落とさないよう手で押さえて枠に差し入れてください。
②吊戸レールのビス穴に合わせて、ドリルで導き穴を開けてください。（レール1本につき6ヶ所）
③吊戸レールを同梱のビスで固定します。（レール1本につき6ヶ所）
④エア等で、吊戸レール取り付け時に発生した木屑を取り除いてください。
※木屑等が残っていると、うまく作動しない場合があります。

片引の場合

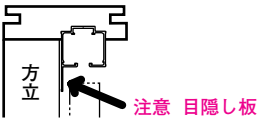
＜左吊の場合＞



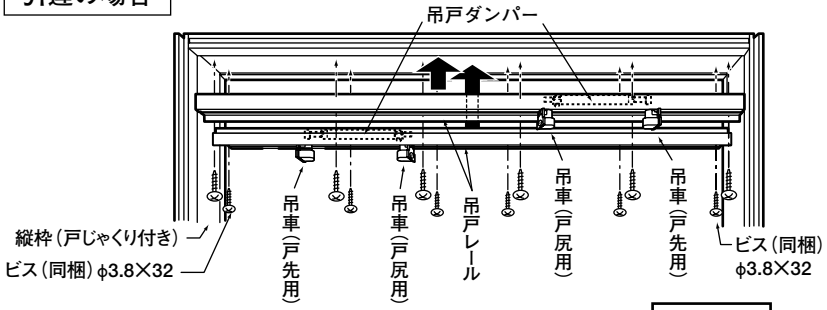
＜右吊の場合＞



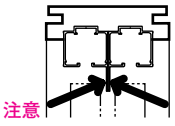
※レールの目隠し板が方立側に向くように取り付けてください。



引違の場合



※レールの目隠し板が互いに内側に向くように取り付けてください。



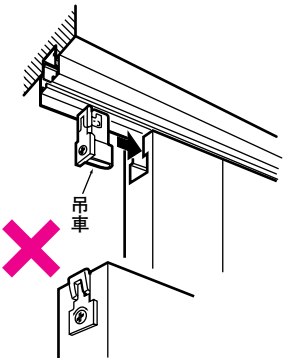
4 引手の取付

取付方法は引手セット（カマ錠引手セット）に同梱の取付説明書をご覧ください。

5 扉のはめこみ

⚠ 注意

必ず吊車を完全にはめこんでください。

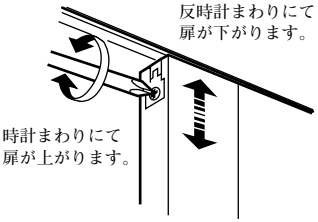


6 吊車の調整

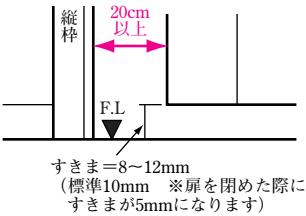
吊車の調整ビスで扉と枠のスキマを調整してください。（調整可能範囲 6 mm）

⚠ 注意

調整吊車で調整しきれない場合は再度枠の水平・垂直を確認し手直ししてください。



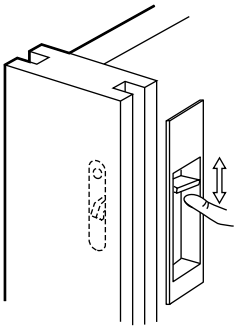
※扉は、機構上、扉を閉めた際に約 5 mm下にスライドします。
吊車の調整は、扉を20cm以上開いた状態で行ってください。



7 カマ錠の施錠確認

カマ錠タイプの場合

施錠できることを確認してください。

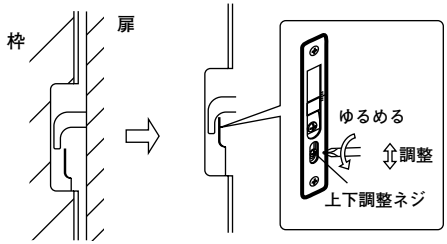


8 カマ錠受座の調整

カマ錠タイプの場合　カマ錠受座にて錠のかかり具合を調整してください。

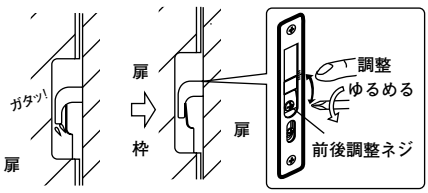
上下調整

①上下調整用ネジをゆるめてください。
②適当な位置に調整して、ネジを締めてください。
③扉を閉めて施錠し、扉が開かない事を確認してください。
④まだ扉が開く場合は①～③を繰り返し調整してください。



ガタつき調整

①前後調整用ネジをゆるめてください。
②適当な位置に調整して、ネジを締めてください。
③扉を閉めて施錠し、ガタつきのない事を確認してください。
④まだガタつく場合は①～③を繰り返して調整してください。

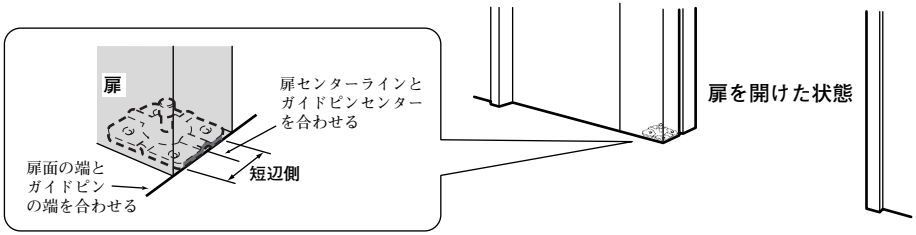


9 ガイドピンの取付

⚠ 注意 必ず扉の上下調整（6）をしっかり行ってから、ガイドピンを取り付けてください。

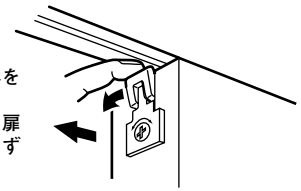
吊り込んだ扉を開けた状態で印を付けてから取り付けてください。

① ガイドピンの短辺側が扉面の端にそろうように位置を決めて印をつけてください。

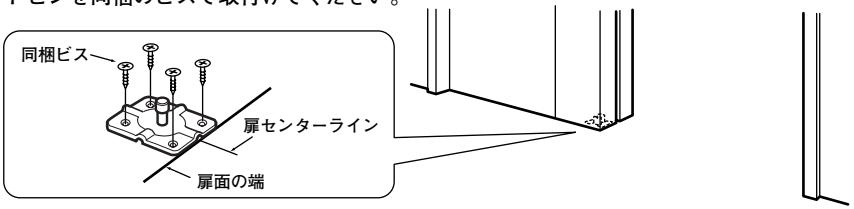


② 扉両側の吊車をいったんはずし、扉をはずしてください。

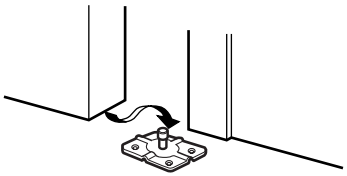
つまみを引っ張り、本体をひきぬいてください。
（扉の重量が重い場合、扉をかるく持ち上げるとはずれやすくなります。）



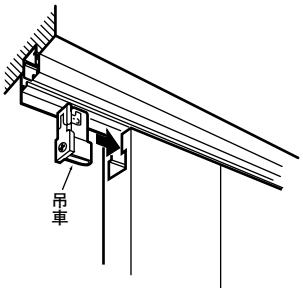
③ ガイドピンを同梱のビスで取付けてください。



④ 扉をガイドピンにはめこんでください。



⑤ 再び吊車をはめこむ。



⑥ 扉を静かに開閉し、扉下部と床（ガイドピン）のスキマを再度確認してください。

⚠ 扉を上げすぎるとガイドピンに扉がかからない恐れがあります。その場合は再度吊車で高さ調整してください。

⚠ 扉下木口と床面とのスキマは扉を開いた状態で8mm以上（標準10mm）あけてください。ガイドピンと扉下木口がこすれ、作動不良の原因となります。

10 吊戸ダンパーの調整

吊戸ダンパーは、出荷時に一定の強度に調整してありますが、扉の重量により扉の閉まる速度（ダンパーの効き具合）が変わります。

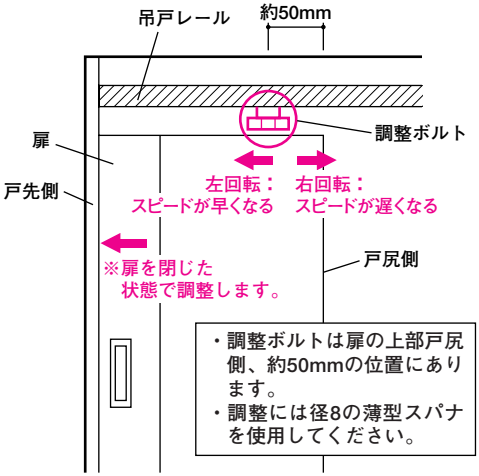
扉の閉まるスピードを変えたい場合、吊戸ダンパーの調整で扉の閉まるスピードを調整してください。

(1)扉を閉じた状態にします。

(2)吊戸ダンパーの調整ボルトを回し、扉の閉まるスピードを調整してください。

⚠調整ボルトの調整は少量の回転でスピードが変わります。調整時は90°単位で調整を行ってください。

(3)扉を開閉し、ダンパーの効き具合を確認します。



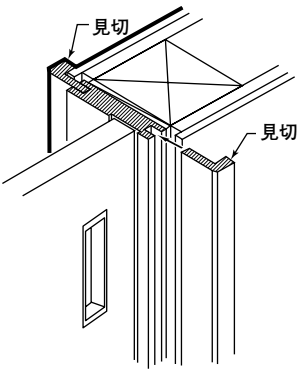
11 見切の取付

見切枠の場合

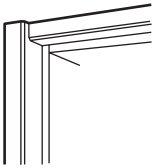
壁の施工が終了してから、見切を取り付けてください。

⚠見切に接着剤（木工ボンド）を塗布してください。

※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。

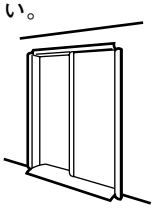


縦勝ちの納めになっています。



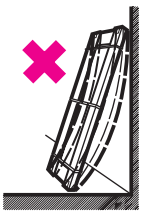
12 養　生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。



※扉を壁にたてかけて保管しないでください。

※扉は梱包ケースに再度入れ、平積み保管してください。



ご注意

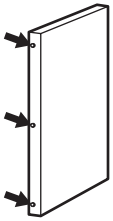
合成皮革デザイン扉を使用上のご注意

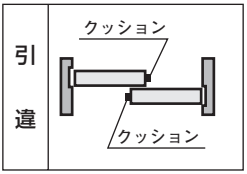
●合成皮革は性質上、傷やめくれに対して補修ができません。施工時や使用時の取り扱いにご注意ください。

クッション材の貼付

扉の横木口の
上・中・下の
三箇所に貼り付け

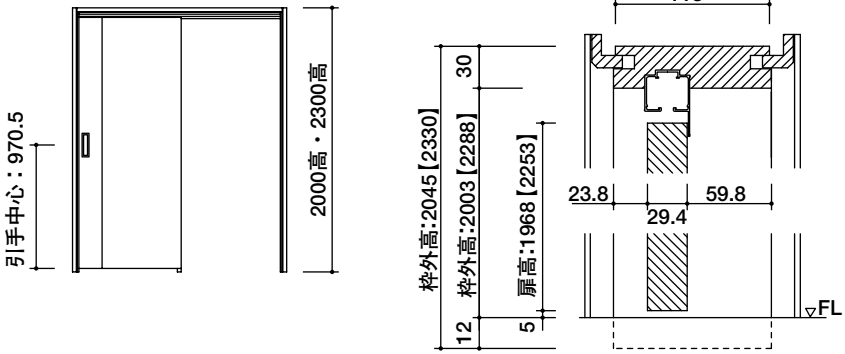
引違のみ



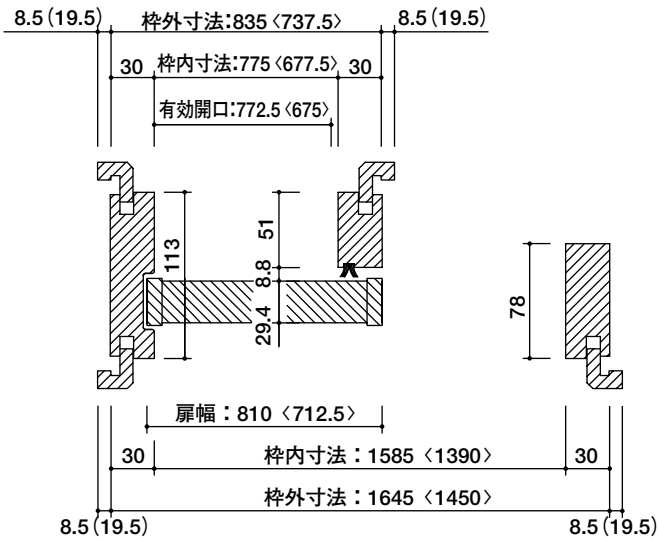


見切枠タイプ寸法図

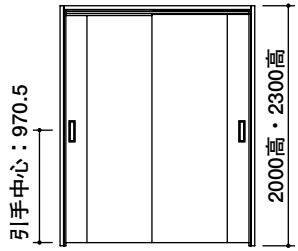
吊戸片引寸法図



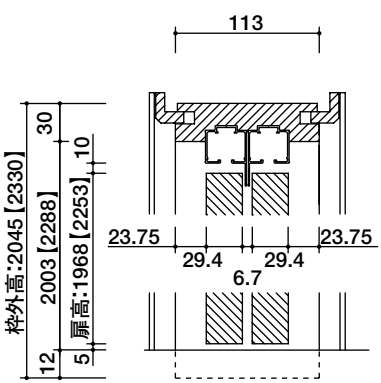
図は見切B～E使用の場合
（　）は見切Aの場合
【　】は2300高の場合

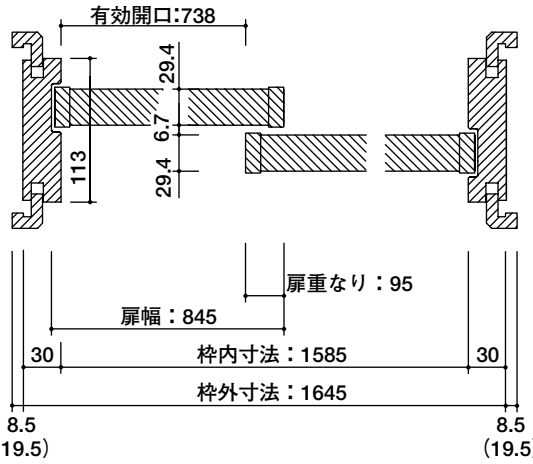


吊戸引違寸法図



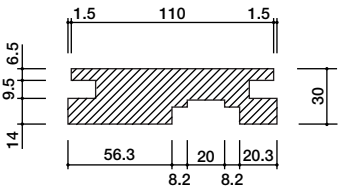
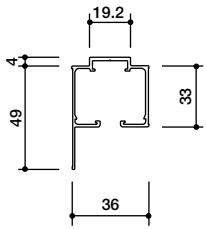
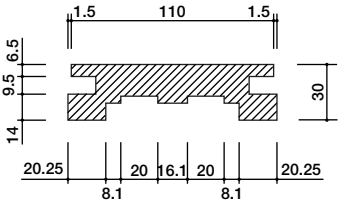
図は見切B～E使用の場合
（　）は見切Aの場合





【　】は2300高の場合

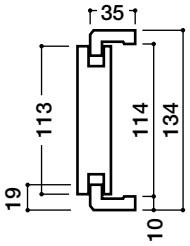
部材断面図

	鴨　居	吊戸レール
片引		
引違		

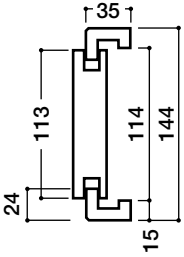
見切枠壁厚対応

見切A（シンプル）壁厚114mm

横　用

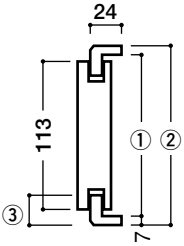


縦　用

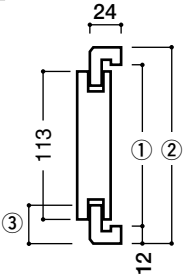


見切B～E（シンプル）壁厚114mm～185mm

横　用



縦　用

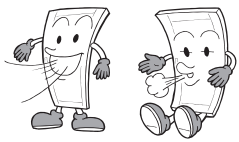


見切		B	C	D	E
①壁厚		114～131	131～149	149～167	167～185
②枠外寸	横用	128～145	145～163	163～181	181～199
	縦用	138～155	155～173	173～191	191～209
③見切サイズ	横用	22	31	40	49
	縦用	27	36	45	54

木質材料の性質について

木質ドアの「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は内装ドア周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、内装ドアの室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。



「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、内装ドアに直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③内装ドアに直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

リビングドア

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責に よらない場合

ご相談窓口について ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様センター

0120-787-505
（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは TEL 0570-064-876へお電話ください。
● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンホーム&サービス株式会社

06-4257-3121

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。

http://www.daiken.jp/service/

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶ ▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。） 尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

北海道営業部
札幌営業所 ☎(011)207-5330
札幌特販営業所 ☎(011)207-5330
旭川営業所 ☎(0166)24-1377
函館事務所 ☎(0138)47-7191
帯広事務所 ☎(0155)25-8421

東北営業部
盛岡営業所 ☎(019)636-1161
仙台営業所 ☎(022)243-6621
東北特販営業所 ☎(022)243-6621
青森営業所 ☎(017)735-8811
郡山営業所 ☎(024)946-7211
秋田事務所 ☎(018)862-4441
山形事務所 ☎(023)632-2711

関東営業部
埼玉営業所 ☎(048)669-0660
宇都宮営業所 ☎(028)621-6431
群馬営業所 ☎(027)321-5511
新潟営業所 ☎(025)285-5887
長野営業所 ☎(026)222-6311
長岡営業所 ☎(0258)33-5734
熊谷事務所 ☎(048)527-5601
松本事務所 ☎(0263)40-0370

首都圏営業部
東京営業所 ☎(03)6271-7731
横浜営業所 ☎(045)222-4781
千葉営業所 ☎(043)287-8491
多摩営業所 ☎(042)571-3434
水戸営業所 ☎(029)248-8511
静岡営業所 ☎(054)288-3881
浜松営業所 ☎(053)458-5751
山梨事務所 ☎(055)275-7931
我孫子事務所 ☎(04)7183-4070
相模原事務所 ☎(042)770-9130

中京営業部
名古屋営業所 ☎(052)205-5811
名古屋特販営業所 ☎(052)205-5811
三重営業所 ☎(059)226-7073
岐阜事務所 ☎(058)246-6752
三河事務所 ☎(0564)65-8681

北陸営業部
金沢営業所 ☎(076)262-3211
北陸特販営業所 ☎(076)262-3211
富山事務所 ☎(076)429-7250
福井事務所 ☎(0776)26-8508

近畿営業部
大阪営業所 ☎(06)6452-6200
大阪特販営業所 ☎(06)6452-6220
リモデル営業所 ☎(06)6452-6171
京都営業所 ☎(075)341-8151
兵庫営業所 ☎(078)321-1822
沖縄営業所 ☎(098)879-4916
和歌山事務所 ☎(073)473-8090

中国営業部
広島営業所 ☎(082)505-2525
広島特販営業所 ☎(082)505-2525
岡山営業所 ☎(086)262-2271
岡山特販営業所 ☎(086)262-2271
山口事務所 ☎(083)974-0303
福山駐在 ☎(084)924-7196

四国営業部
高松営業所 ☎(087)866-6260
高松特販営業所 ☎(087)866-6260
松山営業所 ☎(089)934-7585
徳島営業所 ☎(088)624-4210
高知駐在 ☎(088)885-6202

九州営業部
福岡営業所 ☎(092)413-2345
福岡特販営業所 ☎(092)413-2345
熊本営業所 ☎(096)372-5211
南九州特販営業所 ☎(096)372-5211
鹿児島営業所 ☎(099)254-8300
北九州事務所 ☎(093)522-1224
長崎事務所 ☎(0957)35-0161
大分事務所 ☎(097)533-8701
宮崎駐在 ☎(0985)26-5908
東部住宅営業部 ☎(03)6271-7721
集合住宅営業部 ☎(03)6271-7751
工事建材課 ☎(03)6271-7766
リモデル営業部 ☎(03)6271-7761
リテール営業部 ☎(03)6271-7755
西部住宅営業部 ☎(06)6452-6232
集合住宅営業1・2課 ☎(06)6452-6243
工事建材課 ☎(06)6452-6245
住機製品事業部 営業課 ☎(0763)82-5882

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス http://www.daiken.jp/

2010.10 現在